

平成29年度・富水地区自治会連合会視察研修

富水地区自治会連合会の視察研修会を11月5日・6日に実施しました。参加者は29名で、今年度は地域コミュニティが盛んな長野県松本市（人口約24万人）を訪問しました。松本市町会（自治会）連合会会長の平林さんから、松本市地域コミュニティの状況について説明を受けた後、活発な意見交換を行いました。

松本市の町会の仕組み

489の単位町会が存在し、単位町会がいくつかまとまり35の地区町会連合会を構成している。



地区町会連合会が集まって構成された松本市町会連合会、の三層構造となっており、町会と松本市が協働で地域づくりを進めている。

町会と町内公民館の機能

町会と町内公民館は、相互に連携しながら活動し、町会が「町内自治の統括機能」町内公民館が「町内の活性化機能」の役割を分担している。

松本市が目指す地域の姿

- ◎住民が折り合いをつけて暮らしていける地域。
- ◎「自治の仕組み」がある地域。
- ◎住民が集い、生きがいを感じることができる「場」がある地域。

◎誰かが困ったり、行動しようとするときに

「支援」がある地域。

◎重要課題を解決する「多様な主体による協働の仕組み」がある地域。

質疑応答・意見交換

○市政懇談会について

○地域運営について

○市からの補助金について

○公民館建設時の補助金について

○高齢者対象の活動について

○自治会の加入率について



少子高齢化で自治会加入率が低下しているなかで、顔の見える横のつながりができるシステムを構築するために、日頃の自治会活動の問題点を話し合い、確認し合い、有意義な視察研修となりました。

※小田原市人口約19万人、単位自治会252、自治会連合会26

富水いきいき人 集合! No.10

オカリナサークル「リナいずみの会」

今回は、富水地区を拠点にUMECO祭りなど、小田原市内で今年も17カ所の地域イベントに招かれて演奏を披露しているオカリナサークルをご紹介します。

【代表 加藤新二郎さんの話】

癒し系の音色を醸し出すオカリナに引き込まれ、自らも奏でたい・そんな恋心にも似た思いを膨らませた仲間が集いレッスンを重ねて精進?しつつあるのがオカリナサークル「リナいずみの会」（市活動団体登録名はSポップス）です。

現在はシニア世代の個性豊かなメンバー7人が集い、それぞれのネットワークを通じてお声が掛かり、地域や施設でのイベントでは70年代フォークからポピュラー、童謡等幅広いジャンルからオカリナとギター弾き語りによる演奏を披露しています。

結成して2年程度ですが、平均月2回程度のお声掛けを頂き、いつも「音楽を通じて共感の輪を広げる」事をモットーに演奏しています。

レッスン日時：第2と第4木曜日（18：30～20：30）

場所：城北タウンセンターいずみ

ご興味がある方はお気軽に覗きにお出で下さい。

お問い合わせ先：090-2412-3098 加藤まで

